

令和7年度 グループホーム地域連携推進会議議事録

会議録:F

開催日時:令和8年3月11日(水)15:30~16:30

参加者:地域関係者 STさん、利用者家族 IMさん、福祉関係者 YSさん、利用者 AYさん
O 管理者、M 部長、Y 係長、O 係長、F 係長

1. グループホーム見学(つばさ・翔)
2. グループホームの概要について

(1) 事業所の概要

- 運営法人:社会福祉法人 あけぼの福祉会
- 事業所名:共同生活援助事業所(グループホーム)アットホームのぞみ
- 所在地(事務所)〒045-0001 岩内郡岩内町字大浜 18-21
- 事業開始年月日:平成18年10月

(2) 利用者の状況

- 定 員:38名(利用者数:36名 令和8年3月現在)
うち一名がサテライトを利用※アパートでの一人暮らし
(4月に2名が新規利用予定)

【男女内訳】男性:22名 女性:14名

■ 年齢層		■ 障がい区分	
20代	4名	区分1	0名
30代	5名	区分2	1名
40代	6名	区分3	0名
50代	13名	区分4	4名
60代	7名	区分5	20名
70代以上	1名	区分6	11名

平均年齢 48.9歳 平均区分 5.1

- 住居数
6ホーム→来年度:7ホーム(予定)

(3) 職員体制

- ・管理者 1名
- ・サービス管理責任者 2名

- ・看護師 2名
- ・支援ワーカー（世話人） 6.2名(常勤換算)
- ・生活支援員 12.5名(常勤換算)
- ・夜間支援員 6名(1日2名～4名を配置)

(4) 令和7年度の運営状況について

・年間行事および地域交流の状況

■主な行事

5月観桜会、8月縁日祭、2月新年会

・その他：歌謡コンサート、お笑いライブ、個人旅行、パークゴルフ大会等

【個人旅行】

令和6年度 ・海外：韓国 ・道外：東京都、広島県 ・道内：札幌、函館等19回

令和7年度 ・道外：東京都2、大阪府

■地域との連携状況について

縁日祭などの行事の際に地域住民の方々にも参加していただけるよう声掛けを行い、交流の機会を設けています。しかしながら、防災面や日常的な連携については十分とは言えない状況であるため、今回の地域連携推進会議でいただいたご意見等を参考にしながら、来年度以降、地域との連携強化に努めていきたいと考えています。

(5)事業内容

障がいのある方が地域の中で安心して生活を送ることができるよう、日常生活上の支援や相談支援を行っています。また、利用者一人ひとりの障がい特性や生活状況に応じた支援を行い、地域の一員として自立した生活を送ることができるよう支援しています。

3. 日常生活支援の状況について ※別紙資料参照

4. 事故・ヒヤリ・ハット・苦情等の状況について

・50代男性(ダウン症)

嚥下機能の低下により誤嚥や窒息のリスクが高いため、嚥下評価(VF 検査)を実施し、現在はムース食およびとろみ剤を使用して対応しています。また、認知機能の低下(認知症)や視力低下(白内障)も見られ、徘徊や他利用者との接触による事故やヒヤリ・ハットの件数が多い状況です。今後は支援員や看護師、関係機関と連携を図りながら、安心して生活を送ることができるよう環境づくりを進めていくことが課題となっています。

・身元引受者からの要望

利用者の方に偏りがあることや旅行費用の負担等について、個人旅行の実施方法に関する苦情および要望がありました。個人旅行のメンバーについては、利用者の希望を聞き取りながら、令和6年度より3年計画で実施しています。個人旅行の目的について説明を行い、身元引受者の理解を得ています。実施状況としては、令和6年度：16名・令和7年度：14名・令和8年度：5名(予

定) 合計36名中30名が個人旅行を希望しており、来年度には希望するすべての利用者が実施できる見込みとなっています。旅行費用の負担については同意書への署名をいただいていたが、身元引受者への説明が十分ではない部分もあったため、今後は旅行実施までの手順を見直すとともに、旅行の目的や費用負担について改めて丁寧な説明を行っていきます。

5. 防災・安全対策について

BCP(業務継続計画)として自然災害および感染症対策を策定しており、年1回の訓練および見直しを行っています。また、避難訓練についても年5回実施し、日頃から防災への意識向上に努めています。

6. 意見交換【見学や説明への意見感想】

- ・自身の子どもがグループホームを利用しているが、職員が一生懸命支援してくれていると感じています。
- ・近所に住んではいるが、近くにグループホームがあることを知らなかったのもので、このような機会に参加させていただき良かったと思います。
- ・高齢者施設だけではなく、障がい者施設も高齢化が進んでいることを知りました。
- ・生活環境も整っており、利用者の方が安心して暮らせる場所だと感じました。

7. 管理者から

- ・今回初めてこのような取り組みを行い、地域の方に利用者の方々の生活を知っていただく良い機会になりました。職員不足からお弁当を提供している施設もあると聞きますが、当施設ではほぼ毎日、出来立ての食事を提供しています。さらに、利用者の方が希望する旅行にも出かけられるよう支援するなど、私たちと変わらない日常を送れる場所づくりを心がけています。